

第1学年 社会科（地理的分野）学習指導案

- 1 日 時：7月10日(水) 5校時
- 2 学級・場所：第1学年5組 視聴覚室
- 3 指導者：倉橋 忠
- 4 単 元：朝鮮と日本の関わり（第3章 東アジアの国々）
- 5 単元設定の理由

今日のわが国の文化は、ながい歴史的な友好関係のもとで、すぐれた朝鮮半島の文化を吸収しながら成立した。しかるに、子どもたちの朝鮮半島に対する認識はかなりあいまいで、偏見にみちたものである。

また、子どもたちは、大人が有している在日韓国・朝鮮人に対する偏見、差別観を無批判に受けとめて、自己の価値観形成をしつつあるようにも思える。

一方、在日韓国・朝鮮人の子どもたちも、ややもすれば自己の血を怨み、民族の誇りさえ失うことも起こり得る。

そこで、朝鮮と日本の関わりの歴史を教科書よりも深く追究し、相互の民族が、戦った時代よりも、互いに友好関係を維持していた時代の方が長い歴史を有することを学びとらせたい。

日朝の友好の歴史を中心教材にして、朝鮮文化を歴史的・客観的に理解させる。さらに、日本の今日の暮らしに朝鮮文化の大きな支えがあったことを読みとる学力(関心・態度)を育てることを教育目標に設定する。

そのことにより、日本人の子どもたちには、在日韓国・朝鮮人に対して友好関係をもとうとする意識を形成するための基礎を培いたい。

また、在日韓国・朝鮮人の子どもたちには、自分の祖国や民族の歴史・文化に誇りを感じとる契機にさせたい。

6 本時の学習目標

本時は、単元の第1時間目に当たるので、今日の生活を、歴史的な所産としてとらえようとする、歴史的分野を学ぶための基本的な構えを形成する。

また、第1学年という発達段階を考慮して、可能な限り、具体的で日常的な教材を選び、日朝の友好の歴史を学ぼうとする動機付けを行いたい。さらに、小学校の社会科授業との連続性を考慮して、行基を人物教材として登場させる。

7 学習指導過程

第1時(本時) ... 日本文化は、日本だけで作りあげてきたものか。古代史編前編。

第2時 ... 日朝友好史・古代編・中世編(渡来人・遣新羅使・李氏朝鮮・室町幕府)

第3時 ... 日朝友好史・中世編(秀吉の朝鮮出兵・江戸幕府の鎖国と朝鮮通信使)

第4時 ... 日朝友好史・近代現代編(韓国併合・強制連行・創氏改名・朝鮮戦争)

学 習 目 標	教 師 の 活 動	生 徒 の 活 動
<p>朝鮮と日本の地理的な位置を地図上で示すことができる。朝鮮半島と日本が近距離にあることが説明できる。</p> <p>多くの和食と呼ばれている食べ物が、朝鮮から伝わったものであることを説明できる。</p> <p>稲作の伝来について様々な考え方があることを説明できる。</p> <p>古代の朝鮮人・渡来人の日本での地位の高さを理由と共に説明できる。 (OpenEndにする)</p>	<p>Q 世界地図の中から、朝鮮半島の位置を探そう。</p> <p>Q 対馬と朝鮮半島は、どれくらい離れてる？ 「日本の文化と朝鮮の文化は大変よく似ています。たとえば、言葉の文法はほとんど同じです。」 縄文土器もそうだよ。」</p> <p>Q 次のものは、朝鮮にもあるし、日本にもある物です。起源となったのはどちらでしょうか。 味噌・豆腐・とうがらし ニンニク・焼き肉・米・すし・茶碗・古墳 「朝鮮の食文化から日本が学んだものばかりですね。」</p> <p>Q 米に2種類のタイプがあることを知っていますか？ (ジャポニカとインディカ) (授業資料参考)</p> <p>Q では、稲作はどこから伝わったと考えることができるでしょうか？ (未だ確定的な学説はない) 「ただし、田圃を作るためには、土木工事が必要です。この土木工事を具体的に指導した人物はだれでしょうか。きみたちが知っている人です。奈良の大仏とも関係があります。」</p> <p>Q では、様々な智慧を日本に伝えた朝鮮人は、古代の日本において差別されたのでしょうか。それとも尊敬されたのでしょうか。</p>	<p>世界地図の中から、朝鮮半島の位置を探す。確かめる。対馬と朝鮮半島の距離が、とても近いことに気づく。約50km。</p> <p>文法まで似ていることを知る。 縄文土器と朝鮮の櫛目紋土器とがよく似ていることを確かめる(授業資料参考)。</p> <p>日本の物のように思えるものの起源を推測してみる。 「とうがらし」の原産地を思い出す。(メキシコ) 「ポルトガル人 日本 朝鮮 日本」という、とうがらしの伝来の歴史を知る。</p> <p>ニンニクが「日本書紀」や「古事記」に出てくることを知る。 稲作の伝来した経路を考えてみる。</p> <p>行基が渡来人の子孫であったことを知る。</p> <p>古代の朝鮮人・渡来人が日本で尊敬され、高い身分を保障されていたことに気づく。</p>